

## スマート農業推進の最前線

### 【鹿屋市における取組について ①】

事業名	農薬散布用ドローン導入事業（令和2年度から継続）
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農家が農薬散布用ドローンを導入し、生産性及び所得の向上の実践化を目指す取組に対し、購入費用の一部を助成し、鹿屋市における農薬散布用ドローンの普及を図る。</li> </ul>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農薬散布用ドローンの導入に係る経費の一部助成</li> <li>・ （対象作物）：水稻・葉菜類、さつまいも、根菜類、果樹、花き工芸作物等の耕種作物</li> <li>・ （採択要件）：農薬散布用ドローンを活用し、目標として農薬散布に係る生産コストの10%以上の削減、もしくは労働時間の10%以上の削減が見込まれること</li> </ul>
事業経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助金 2,000,000円 （補助率：1/2、補助上限1,000,000円/件）</li> </ul>
事業実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鹿屋市内に住所を有する次に当てはまる事業者</li> <li>（1）農業者団体（3戸以上、代表者と規約があるもの）</li> <li>（2）農業協同組合 （3）農業公社 （4）農事組合法人</li> <li>（5）（4）以外の農地所有適格法人</li> </ul>
令和2年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さつまいもの防除については、散布時間、労力が従来の歩行散布と比較して約77%削減された。⇒結果、他の作業が可能となり経営強化につながった。</li> <li>・ 水稻については、散布テストで散布時間が従来の乗用管理機と比較して約29%削減された。⇒結果、短時間での適期防除が可能となり、高品質米生産による収益力向上が見込まれる。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作物によっては、無人航空機で散布可能な農薬が少ない。</li> <li>・ バッテリー等の付属品単価が高く、想定より導入価格が高額となる。</li> <li>・ ドリフト対策等に注意が必要である。</li> </ul>
写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ドローン</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>さつまいも防除</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水稻防除</p> </div> </div>